

平成 27 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

【日 時】平成 27 年 11 月 24 日（火） 15：00～17:00

【場 所】琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター

【参加者】 5 名：長井裕（琉大病院産婦人科）、高橋慶行、長野宏昭（県立中部病院）、
松野和彦（那覇市立病院）、山本孝夫（県立八重山病院）、
赤松道成（北部地域医師会病院）、又吉美奈子（沖縄県教育庁）
大湾盛治（患者の立場の者）、増田昌人（琉大病院がんセンター）

【欠席者】 5 名：奥平忠寛（県立宮古病院）、高江洲 要（沖縄県保健医療政策課）

【陪席者】 1 名：井上 亜紀（琉大病院がんセンター）

【報告事項】

1. 平成 27 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 26 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

2. 【施策 4】学校教育機関または PTA を媒体としたがん啓発活動について

8/18 養護教諭 5 年経験者初任者研修会について

資料 2 に基づき、養護教諭 5 年経験者研修 {平成 26 年 8 月 18 日(火)} について、増田委員より報告があった。主催は県教育庁で、県立総合教育センターにて行われ、参加は養護教諭 5 年 10 年経験者の合計 17 名であった。増田委員と琉大病院骨髄センター長の百名先生を講師として、増田委員からは「がんの総論」のテーマで大人のがんについて（ほとんどの高校生ががん患者の家族か遺族になること）、百名先生からは「小児がんについて」のテーマでの講義が行われた。

3. 【施策 7】平成 27 年 9/1～9/30 ラジオ沖縄「がん征圧キャンペーン」、9/24 ラジオ番組について

資料 3 に基づき、事務方より、ROK ラジオ沖縄にて 5 回目となるがん征圧キャンペーンを行ったことが報告された。9 月いっぱいラジオコマーシャルが放送され、9 月 25 日生放送の特別番組の「チャットステーション L（パーソナリティー玉城美香さん）へ、がん相談支援センターについては中部病院の島袋副看護師長（看護師）と琉大病院の大久保相談員（MSW）、消化器がんについて普及啓発部会委員で北部地区医師会の赤松先生、がん健診について琉大病院がんセンター医師の井岡の出演があった。有名人の闘病の話題もあり、例年以上にリスナーさんからの声が届いていた。赤松委員より、リスナーさんからの質問を、前もっていただいとくとゲストの医師も準備がしやすいのではないかと意見があった。北部地区医師会病院の外来で、赤松委員の氏名受診もあったとの報告もあった。

4. 【施策 8】一般向け講演者リスト（人材バンク）について

資料 4 に基づき、事務方より、参考事例として、南部医療センター・こども医療センターの出前講座の提示があり、内容説明・講師リスト・申込書（記入例）が掲載されているとの紹介があった。今後、当部会の人材バンクのリストも次年度以降の掲載内容を改定してはどうかとの提案があり、人材バンクのリストはあるが、どうやって申し込めばいいのかわからない状況なので、改訂を進めることが協議の上、了承された。

【協議事項】

1. 【施策2】第5回がん検診啓発ポスターコンテストの審査について

資料5に基づき、協議会での投票による予備審査を踏まえて、部会委員による審議の結果、最優秀賞に沖縄県立知念高等学校3年玉城亜門さん、優秀賞に那覇市立上山中学校3年城間紗里衣さん、及び南城市立大里中学校3年仲吉菜々子さん、アイデア賞に沖縄市立山内中学校1年幸地純矢さん、及び宮古島市立上野中学校3年西里琉夏さんの5作品が受賞となった。今回は、応募数205作品・応募校27校と昨年度から倍増したので、優秀賞を2名、アイデア賞を2名とすることが協議の上決定された。入賞した5作品は、2月19日の第4回協議会にて表彰され、受賞者には賞状と副賞（図書券）の贈呈が行われることが了承された。また、最優秀賞作品は、宮平乳業様の牛乳パック広告に掲載され、優秀賞の2作品はポスター作成をすることが決定した。

事務方より、今年度も無償で牛乳パックの広告欄に、がん検診ポスターコンテストの最優秀賞受賞作品を掲載して頂くよう依頼中との報告があった。2月の協議会にてがん検診ポスターコンテストの受賞者の生徒さんの表彰式を行うとともに、宮平乳業様の社会貢献に対し感謝状を贈ることも、協議の上了承された。

2. 次年度以降のポスターコンテストのあり方について

次年度も、多数の応募が予想されるので、予備審査会のための普及啓発部会を開催して、20～50作品に絞り込んだ上で、11月の第3回協議会にて、協議会委員の皆さまに見ていただき、12月の普及啓発部会で最終審査を行うことが了承された。

3. 平成28年度の普及啓発部会の運営・事業行動計画・予算の骨子案、平成27年度の事業計画の評価について・・・（資料6-1, 6-2, 6-3, 6-4）

（1）平成28年度の行動計画について

長井部会長より、資料6-1, 6-2に基づき、施策としては、大きく分けて5つの分野があり、事業ができているものもあるが、【施策9】企業へのアクションができておらず、【施策3, 4, 5】の高等学校の生徒さんへのがんに対する授業がここ数年来できていないとの報告があった。部会の予算立てをして、各学校へ文書発送など働きかけをしてはどうかとの提案があった。

【施策1】メディアセミナーの開催について、増田委員より、メディアセミナーは国立がんセンター主催の1年を通して参加の会員制の講座であり、メディアドクターは帝京大学の先生のNPO法人による主催で2か月に1回程度開催されているが、首都圏から在京の全国紙メディア、医療系出版社やジャーナリスト、雑誌社の方の参加が多い状況との報告があった。

長井部会長より、全国紙のある首都圏と同じように開催することは地方では難しく、県民に正しいがんの知識を提供することの一つの方法としてメディアに勉強してもらって紙面や映像で県民に発信してもらうことが施策の目標であるならば、その方法を変えるべきではないかとの提案があった。次年度、学校やPTAで講演を行う際、マスメディアに声をかけ、紙面や映像で県民に伝えてもらえば、情報提供にならないかとの提案があった。

【施策 3, 4, 5】学校教育機関または PTA を媒体としてがん啓発活動(1), (2), (3)について、又吉委員より、教育の立場として、全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会で、沖縄県では教育庁と普及啓発部会が連携して教職員研修に専門医を招く取り組みが発表され、次年度は、県内の中学校で 1 校、「総合」か「道德」の授業で、命の授業と絡めてがんについての沖縄の現状を伝えて検診を受けましょうでまとめる授業を行い、保健体育の先生に研究授業として見に来てもらうという計画を立てているとの報告があった。

高橋副部長より、県立高校などの受験科目に 5 教科以外に保健体育を入れ、問題の中に「がん」の項目を入れたら、子どもたちも勉強するのでがん教育の一環にならないかとの提案があった。又吉委員より、日本学校保健会が保健の知識がどれくらい定着しているか、年内で全国無作為抽出調査をしており次年度発表されたときに、「指標」として測定ができるのではないかと、また、がんと並んで、「くすり教育」「思春期保健（産婦人科医、保健師の連携による）」も、今後、医療者との連携が進められるとの周知があった。次年度、教育庁から中学校や高校でのがん教育の講演会を開催する場合の講師派遣の予算組みもしていると事務方より報告もあった。副読本の作成は部会施策としては削除し、厚労省の小学生向けの副読本の利用や、教育庁と県医師会で作成した副読本を広めていきたいとの協議がなされた。

長野委員より、看取りや最後の時間の過ごし方はどうしているのか、告知を受けていない、あるいは理解していない方が多く驚いており、抗がん剤治療や放射線治療は受けていないが代替医療に走ってしまう方も多いように感じており、病院の先生との上手い付き合い方や、がんで亡くなる時代に、看取りや最後の時間をどう過ごすか、医療従事者や一般の方、施設での看取りも含め、いつか最後が来るがそれとどう向き合うか（エンド・オブ・ライフ）をお話ししていく機会が増えたらいいとの意見があった。

増田委員より、「がん教育」は医療者が授業をするのではなく、学校の保健体育の先生が授業を行い、医療者は授業の一部で講義したり、患者会を紹介したりといったサポートを行い、県教育庁と部会が連携して「がん教育の授業」のひな形のスライドや DVD のマニュアル作りをし、HP に掲載して学校の先生方に自由に使っていただけるよう、国立がんセンターのがん教育資料なども活用することが、協議の上了承された。

【施策 9】職場でのがん検診に対する理解・普及啓発のアンケート調査について、松野副部長より、那覇市立病院で「がんと就労」を担当しており、那覇市立病院主催の「がんフォーラム」を開催しているが、就労は実際に企業と向き合うことになるが、産業医との連携を構築するなど自院での取り組みを部会に還元紹介するとの報告があった。増田委員より、連合おきなわと別組織でやりとりをしているので、部会としては企業に対するアプローチをしていただけないかとの提案があり、企業は「うつ」対策が主なので、「がん」のアプローチは難しい状況であるとの周知があるものの、施策として存続させることが協議の上、了承された。

（２）平成 27 年度の予算の骨子案について

資料 6-3 に基づき、協議の上、【施策 3, 4, 5】で、学校現場への講師派遣の費用を確保することです承された。

4. 普及啓発部会に関する中間評価指標について

①「がんの教育・普及啓発」について

資料 7 に基づき、がんセンター井岡より、中間評価報告書の体裁に向けて、基本となる施策・指標マップの A 分野アウトカム、B 中間アウトカム、C 個別施策の表記は簡略化しており、一覧に内容を、指標リストで具体的な指標を明記しており、施作・指標マップ、一覧、指標リストの 3 本柱で、A 4 サイズでわかりやすい表記として修正を行ったとの報告があった。数値については、今回、測定困難なものはその旨を表記している。長井部会長より、修正があれば、メーリングで協議検討するとの提案があり了承された。

5. その他

(1) がんピアキャラバン I N 石垣島でのポスター応募作品の掲示について

資料 5（参考資料）に基づき、事務方より、12/6 石垣市健康福祉まつりの会場にて、県の離島支援事業でのがん相談等がん支援を活用する県民の増加を推進するための「がんキャラバン」の展示ブース内に、ポスターコンテストの応募作品（協議会での予備審査通過作品）の展示を行うことが、協議の上承認された。ポスターの使用権は、普及啓発部会にあるため、部会での承認が必要であった。

4. 次回、平成 28 年度第 1 回部会開催日について

【候補日(1)】 4 月 12 日(火)15:00～

【候補日(2)】 4 月 19 日(火)15:00～

【候補日(3)】 4 月 26 日(火)15:00～